六本杉

【教育目標】　○ 創造　○ 共生　○ 健康

地域の中で幸せに生きる力を育む
地域運営学校(コミュニティ・スクール)
八王子市立いずみの森義務教育学校
学校便り　1252号
令和8年度　11月号(令和8年10月30日発行)

「憧れ」が子供たちを成長させるフェスティバル

副校長　齊藤 仁

先週22日(木)、23日(金)、24日(土)の3日間、いずみの森フェスティバルを開催しました。当日は2千名を超える保護者・地域の方々に参観いただきました。子供たちは今までの練習の成果を発揮し、最高の合奏、合唱、演技をお見せすることができたと思います。

1日目の児童・生徒が一堂に集まった児童・生徒鑑賞日の感想を一言ずつ述べます。

5年生:力強い合奏と、美しく澄み切った合唱。5年生らしい迫力とまとまりで、聴いている人たちを引き込みました。

2年生:ゆかいな動きや楽しい台詞に、会場中が笑顔になりました。全員の気持ちを一つに劇を創り上げました。

3年生:魔法がかかったように豊かな音が重なり合って、まるで本物の夢の国に来たような世界を見せてくれました。

7組前期:元気いっぱい笑顔いっぱいに一つ一つの音や言葉を大切に届けてくれて、心がじんわりと温かくなりました。

音楽クラブ・吹奏楽部:日頃の練習の成果が出ていて、フェスティバル全体を音楽の力で見事に盛り上げてくれました。

4年生:自分たちの力で答えを見つけようとする姿、仲間の大切さを伝える力強い演技に、胸が熱くなりました。

1年生:わくわくする気持ちが伝わってきて、見ているこちらまで一緒に冒険に出かけたくなるかわいい発表でした。

6年生:前期最高学年。あきらめない心、信じ合う気持ちが見ている人たちに届き、深い感動を生み出しました。

7組後期:澄み切った合奏と、希望に満ちた歌声が大体育館に広がり、明日への元気を届けてくれました。

7年生:声を合わせて美しいハーモニーを作ろうとする真剣な姿に、7年生の大きな成長を感じました。

8年生:言葉の一つ一つを大切に表現し、豊かな響きで時を超えるような幻想的な世界観を作り上げてくれました。

9年生:後輩たちに歌声を通して強いメッセージを届けました。未来へ向かう決意が歌声に乗り、心に深く刺さりました。

和太鼓部:お腹の底まで響く迫力ある太鼓の音と、息の合った圧巻のパフォーマンスで盛り上げてくれました。

体育館いっぱいに響き渡った音楽、そして笑顔や感動があふれた劇、どの学年・学級・クラブ・部の発表も心に残る素晴らしいものでした。みなさんが手に入れた一番の宝物は、練習を重ねて「みんなでやり遂げた」という大きな達成感と、互いを信じ合った絆です。会場に届いた保護者の方や地域の方々の大きな拍手は、みなさんの頑張りに対する最高のプレゼントです。この経験を自信にして、これからの学校生活も仲間と一緒に一歩ずつ進んでいきましょう。

本校の9年生の姿は、下級生にとって「憧れ」であり「目標」です。自らの未来の姿を思い描きながら、互いの発表を見ることができるいずみの森フェスティバルを、これからも大切にしていきたいと思います。

最後になりますが、日頃より本校の教育活動をご支援いただき、当日も温かく見守ってくださいましたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。